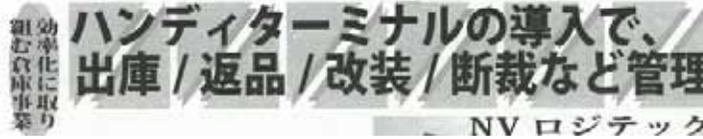
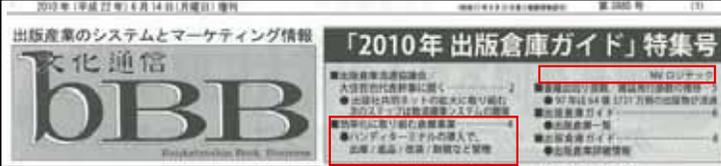


出版システム  
Publishing ERP

ハンディターミナルの導入で、出庫/返品/改装/断裁など管理！ 効率化に取り組む倉庫事業



株式会社 NVロジテック

所在地: 埼玉県新座市池田1丁目2-5  
代表: 代表取締役社長 浅見孝司  
従業員: 60人



「来年ぐらいにはシステムを拡張したいとする」浅見社長

日本ヴォーグ社の物流を担っているNVロジテックは、取次への納品のほか、手芸キットなどの通信販売事業や、押し花教室の会員事業といった日本ヴォーグ社が展開する多様なビジネスモデルに対応した物流を行っているが、昨年、ハンディターミナルを導入し、こうした事業の効率化に取り組んでいる。



ハンディターミナル



本社外観



900点180万冊を取り扱う出版物ピッキングの様様



会員事業で使われるキットなどのピッキング

**出版倉庫会社様向けソリューションをご提案！**  
～ 受注・出版VAN・出荷・商品管理・取次店請求書発行・出版社へ請求業務 ～

出荷～商品管理のみならず、書店様からの受注機能、取次店請求書発行業務及び出版社様への請求業務にいたるまで、ソリューションをご提供します。

- 出版倉庫会社様向けソリューションの主なポイント
- ロケーション検封資料作成
- 取次店への請求関連書作成(請求書/請求明細書/箱票一覧表)
- 出版社とのデータ交換に対応
- 出版社 → 倉庫 (受注/出荷/入庫/改装/断裁情報)
- 倉庫 → 出版社 (返品/在庫/在庫/取引先など各種マスタ情報)
- 管理/作業費等、出版社様向け請求業務の作業効率向上
- 集配先～出荷情報より、書店前・商品別受注状況の把握、書店様へスムーズな対応が可能
- 追加VANにも対応(受注・集配先・出荷・返品)
- 集配先へメール
- 通信機器及びサーバにてセキュリティも確保し、運用/保守面へのサポート体制を構築

お問い合わせは、出版社と書店を繋ぐネットワークをサポートする KOWA 株式会社 光和コンピューター

同社は4年前、現在の社名になって現在地に移転したのにあわせて、それまで分かれていた出版物と通販・会員向け商品の管理を1カ所に集約した。

本社流通センターの延べ面積は約1500坪、従業員は社員5人をはじめとして60人。施設内には日本ヴォーグ社の受注センターも入っている。管理アイテムは通信販売事業が約3000点、会員事業が約2000点、出版物は約900点。ただ、出版物は総冊数180万冊に達する。

通信販売と会員事業の物流は3年前にシステムを導入し、データベースも統合しているが、出版物については、昨年、初めて光和コンピューターのシステムを導入した。通信販売や会員事業の物流は、納品、出荷というシンプルな流れだが、出版物は返品、改装など複雑な処理が発生するため。商品管理も会員事業の商品はロケーション管理を行っているが、出版物のピッキングエリアはロケーション管理をしていない。これは「スタッフにベテランが多いのでカテゴリごとの分類の方が作業効率がよいのです」と浅見孝司社長。「どうしても最初はスタッフに機械への拒否反応があるので、それを払拭するために、まずハンディターミナルを導入しました」と浅見社長は段階的に機械化を進めていることを説明する。それは、「働く人労力を軽減することが省力化だからです」という考えからだ。

複数の共同返品の入力などを除くと、入庫、返品、改装、断裁などの作業をすべてハンディターミナルで管理している。このことで、「ほとんどミスはなくなりました。また、棚卸の精度もほぼ正確で、作業時間は半減しました」と(浅見社長)と効果を発揮している。そして、作業が標準化できたという効果も大きい。

日本ヴォーグ社の受注センターは、書店や取次などからの注文を受けるスタッフが5人、直販の担当者が7人。ここで受注したデータがピッキングリストとして出力される。通販と会員向けについては、無線でハンディターミナルにデータが転送される。出版物については、紙のリストに沿ってピッキングして、ハンディターミナルで検品して出荷する。日本ヴォーグ社との間では商品マスタを日々交換しており、今後は商品ごとのABC分析をマスタに反映させて在庫の配置を行うといった効率化も予定している。「まずハンディターミナルに慣れて、来年ぐらいにはシステムを拡張していきたい」と浅見社長は考えている。